

東北大学「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」と その後の男女共同参画推進事業

東北大学は大正2年（1913年）、わが国の大学として初めて女性に門戸を開いた。その自負の下、学内における男女共同参画の推進に向け、平成13年に男女共同参画委員会を設置し、男女格差の是正、研究・労働環境の改善、両立支援体制の確立・充実などに全学を挙げて取り組んできた。

学術分野においても平成15年に21世紀COE「男女共同参画社会の法と政策」が、平成20年にはその成果を発展させたグローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」が採択され、男女共同参画を推進するための政策や社会制度の研究を進めてきた。

また平成18年度からは、女性研究者の支援のための「女性研究者育成支援推進室」を設置し、文部科学省の支援事業として採択された「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」（平成18年から3年間）及び、下記に挙げる「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」（平成21年度から5年間）を実施した。平成26年度からはこの成果を踏まえ、後述する男女共同参画推進センターを中心に大学独自事業としてこれらの事業を継続推進している。

「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」の取組と成果

平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者養成システム改革加速」事業において「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」事業が採択された。理、工、農学系分野において、優れた女性教員を5年間で新規に30名採用し、その能力と職階のジャンプアップを図るため、世界トップリーダーとして必要な幅広い学問領域を見渡せる「自立し、共生し、未来を育み、サイエンスを拓く杜の都女性研究者」を育成することを目的として、「世界トップクラス研究リーダー養成」「新ネットワーク創生」「研究スタイル確立」の3つのプログラムを実施した。

その結果、本事業の新規採用者は平成21-25年度の5年間で、理学系6名（教授1・准教授1・助教4）、工学系16名（准教授2・助教14）、農学系4名（教授1・助教3）計26名、また学内独自の経費を財源とする独自養成として、理学系6名、工学系12名、農学系1名の計19名、合計45名が新規採用された。さらに昇任は、平成21年度4名（理学系准教授2名、工学系教授・准教授各1名）、平成22年度3名（理学系講師、工学系准教授・講師各1名）、平成23年度1名（理学系講師1名）、平成24年度2名（工学系准教授2名）、平成25年度1名（工学系准教授1名）であった。理、工、農学系分野における教授、准教授、講師の女性教員数は、最終的に事業開始前の平成20年度から61%増加した。

東北大学女子学生入学100周年記念事業の実施

東北大学は、平成25年（2013年）に我が国の大学として初めて女子学生を受け入れてから100周年を迎えた。これを記念して、「男女共同参画推進のための行動指針」の策定や記念シンポジウムの開催及び記念ロゴマークの制定など、年間にわたって様々な取組を展開し、本学におけるこれまでの男女共同参画の歴史を振り返り、次の100年に向けた全学および各部局の取り組みを検討した。

男女共同参画推進センターの設置

平成26年4月には、本学全体の男女共同参画活動を円滑に推進することを目的として、これまでの女性研究者育成支援推進室を発展的改組し、東北大学男女共同参画推進センターを設置した。当センターは男女共同参画委員会を支援し、各種の男女共同参画に関する施策を実施している。平成25年に制定した「男女共同参画推進のための行動指針」に基づき、1)次世代育成、2)女性リーダー育成、3)次世代育成、4)顕彰制度、5)地域連携、6)国際化対応、7)支援推進体制、の7プログラムを実施することで、今後一層の男女共同参画の推進を図る予定である。

【連絡先】東北大学 男女共同参画推進センター

TEL：022-217-6092 FAX:022-217-5906

E-mail：mh_office@morihi.me.tohoku.ac.jp

URL：http://www.morihi.me.tohoku.ac.jp/



杜の都ジャンプアップ事業 for 2013

東北大学女性研究者誕生100年、次なる100年にむけて

東北大学男女共同参画推進センター

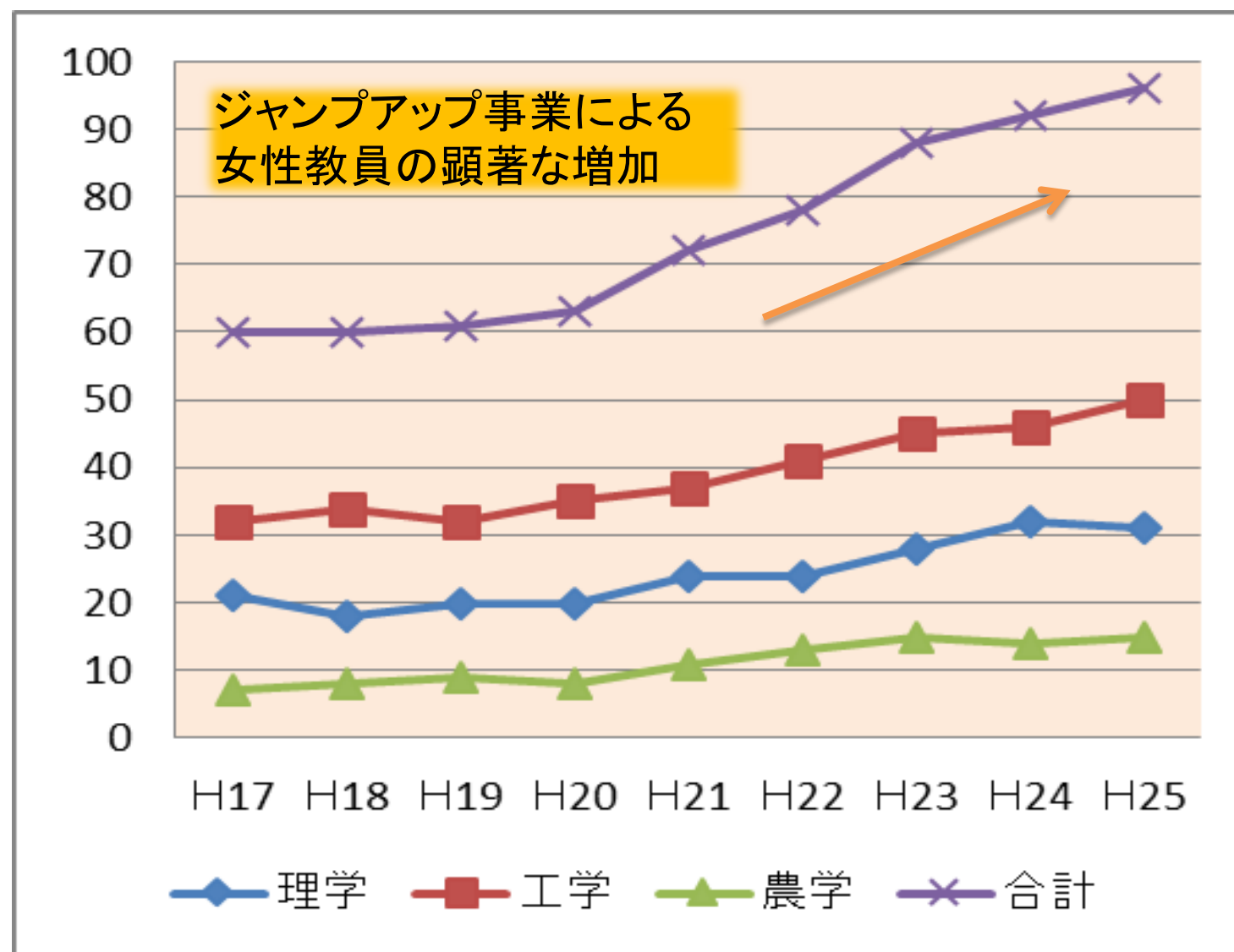
<http://www.morihime.tohoku.ac.jp/>



ミッションステートメント

女性研究者数の増加、研究プロジェクト・業績の増加、独創的な異分野融合学問の立ち上げ

5年間で45名新規採用を達成 教授・准教授・講師は61%増



	新規採用				独自養成 (特定有期雇用:平成21年4月~5月13日の採用者)				昇任			
	理学系	工学系	農学系	計	理学系	工学系	農学系	計	理学系	工学系	農学系	計
H21	0名	2名 助教2	1名 助教1	3名	4名 講師1 助教3	4名 助教4	1名 准教授1	9名	2名 准教授2	2名 教授1 准教授1	0名	4名
H22	3名 教授1 准教授1 助教1	6名 助教6	2名 教授1 助教1	11名	0名	3名 准教授1 助教2	0名	3名	1名 講師1	2名 准教授1 講師1	0名	3名
H23	1名 助教1	1名 助教1	1名 助教1	3名	0名	1名 助教1	0名	1名	1名 講師1	0名	0名	1名
H24	1名 助教1	5名 准教授2 助教3	0名	6名	2名 助教2	3名 助教3	0名	5名	0名	2名 准教授2	0名	2名
H25	1名 助教1	2名 助教2	0名	3名	0名	1名 助教1	0名	1名	0名	1名 准教授1	0名	1名
計	6名	16名	4名	26名	6名	12名	1名	19名	4名	7名	0名	11名

女性研究者数の推移 各年度5月1日現在

事業による女性教員の採用・養成・昇任数 H21-H25

女性研究者の養成・活躍

目標: 女性研究者をリーダーとする研究プロジェクトや研究業績数の3年後30%増加、5年後55%増加

✓理工農分野の科研費採択件数の増加

H21【55件】(新規25件/継続55件)

⇒H26【87件】(新規31件/継続87件)

58%増

・ジャンプ新規採用者は5年間で科研費22件採択

H21【1件】→ H25【11件】と急増 挑戦する女性研究者の増加

✓受賞

ジャンプ新規採用者受賞20件、全学女性受賞合計69件

✓登用

機構長、副理事、総長特別補佐、法学研究科長、理学研究科数学専攻長、加齢医学研究所副研究所長など

波及効果

✓他大学・他機関・学会での招待講演【19件】

✓他大学・他機関からの訪問【10件】

✓新聞報道【8回】、TV放送・報道【3件】、特番【1件】

✓100周年関連

新聞報道【23回】、TV放送・報道【4件】、冊子掲載【8件】

学内外においても、わが国の科学・技術研究への理解の増進に寄与

5年間の実施内容

女性研究者育成支援推進室を中心に学内外と連携しながら実施

世界トップクラス研究リーダー養成

沢柳フェロー(女性教授メンター)と部局メンター

⇒複数メンター性による助言・指導

沢柳フェロー昼食会および茶話会

計11回開催

女性研究者向け 能力アップセミナー

計15回開催

新ネットワーク創生

東北大学女性研究者ファイル 各年度 計5冊発刊

HPによる情報発信、メーリングリスト、SNS作成など

研究スタイル確立支援

セミナーの実施

計10回開催

シンポジウム・イベント開催

・『杜の都ジャンプアップ事業 for 2013』シンポジウム 計5回

・東北大学オープンキャンパス『ランチタイムfor女子高校生 by理工農若手女性研究者』 計4回

スキルアップ経費による養成支援 国内外 計 61件



沢柳フェロー昼食会



外部資金獲得セミナー



オープンキャンパス

東北大学女子学生入学百周年 記念シンポジウムの開催

H25 8. 8 約250名来場



未来を切り拓くのは、いつの世も挑戦者たちだ。

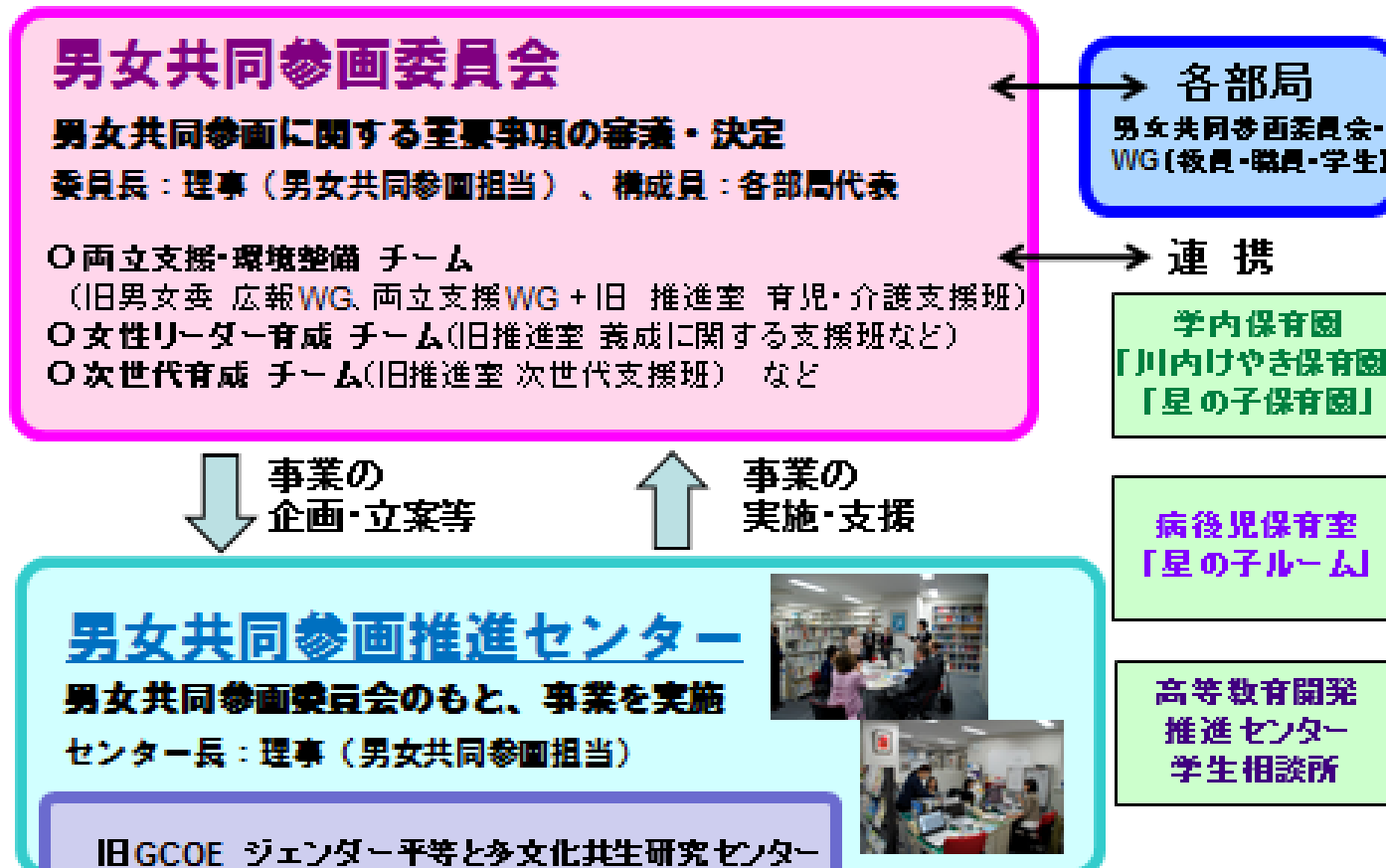
東北大学における男女共同参画推進のための行動指針 7項目 発表

- ①両立支援・環境整備
- ②女性リーダー育成
- ③次世代育成
- ④顕彰制度
- ⑤地域連携
- ⑥国際化対応
- ⑦支援推進体制



男女共同参画・女性研究者支援の体制

H26年4月男女共同参画推進センターを設置



(シンポジウムの様子)